

報道資料

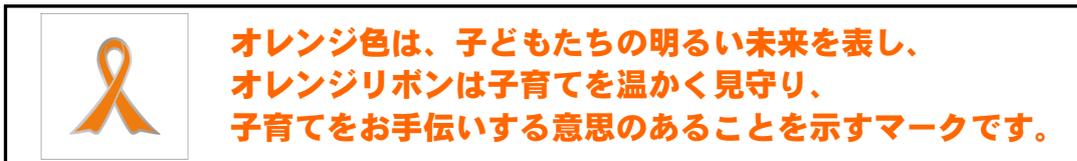
令和元年10月25日
こども家庭課 児童虐待対策係
担当：小原、松岡、喜多
0742-27-8605（ダイヤルイン）
2877（内線）

子どもたちの笑顔を守る

11月1日 街頭オレンジリボンキャンペーン

～11月は児童虐待防止推進月間です～

県では、推進月間のスタートにあたる11月1日に県内一斉街頭オレンジリボンキャンペーンを実施します。増加する児童虐待について、県民の皆様の認識を深めていただくため市町村、警察その他関係機関と連携し、啓発活動を行います。また、11月中には、県内各所にてオレンジリボンキャンペーンを展開します。



◆奈良県内における月間中の取り組み予定◆

1. オレンジリボンツリーを県庁正面受付横に設置（11月1日から11月30日）
奈良県産のスギの木を大きなオレンジリボンで装飾し、ひとりでも多くの県民及び職員等に「オレンジリボン」の趣旨を知ってもらい、子育て家庭を温かく見守る意識を醸成します。

2. 県内一斉オレンジリボンキャンペーン

奈良県と全市町村が連携してキャンペーンを実施します。

〔奈良県〕

日 時：令和元年11月1日（金） 11時～12時

場 所：近鉄奈良駅周辺

参加者：県、警察本部、奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」、奈良県里親会

内 容：オレンジリボン、啓発リーフレット、ポケットティッシュの配布

〔市町村〕

実施市町村：奈良市、天理市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、生駒市、香芝市、宇陀市、山添村、平群町、三郷町、田原本町、曽爾村、御杖村、明日香村、王寺町、広陵町、河合町、大淀町、下市町、黒滝村（22市町村）

※上記以外の市町村では、11月1日以外の日にキャンペーンを実施



昨年度の様子

3. 県主催のイベント等での啓発活動

日時	イベント名	啓発活動内容
11月4日（月・祝） 終日	飛鳥Run×2リレーマラソン2019 （橿原運動公園）	こどもを守るオレンジリボン隊として、県職員と児童養護施設職員がリレーマラソンに参加
12月7日（土） 終日	奈良マラソン （ならでんフィールド）	こども家庭課のブースを設け、ランナーや観覧者に啓発物品を配布

4. 県内大学学園祭等での啓発活動（奈良児童虐待防止ネットワーク「きずな」と連携して活動）
啓発パネルの展示、啓発物品の配布を行います。

日時	イベント名
10月 5日（土） 終日	白鳳祭（白鳳短期大学）
10月13日（日） 終日	三室祭（奈良学園大学）
10月19日（土） 終日	畿央祭（畿央大学）
10月19日（土） 終日	白檀生祭（奈良県立医科大学）
10月19日（土） 終日	病院祭（大和高田市立病院）
10月19日（土）、20日（日） 終日	紫苑祭（奈良芸術短期大学）
10月26日（土）、27日（日） 終日	佐保祭（奈良佐保短期大学）
10月27日（日） 終日	学園祭（奈良文化女子短期大学）
11月 2日（土）、3日（日） 終日	輝菫祭（奈良教育大学）
11月 2日（土）から4日（月） 終日	青垣祭（奈良大学）
11月 2日（土）から4日（月） 終日	恋都祭（奈良女子大学）
11月 3日（日） 終日	秋華祭（奈良県立大学）
11月 9日（土） 終日	天理大学祭（天理大学）
11月16日（土） 終日	虹色祭（帝塚山大学）

◆奈良県児童虐待防止ネットワーク「きずな」とは◆

虐待を受けている子どものいのちと人権を守り、また虐待の加害者となってしまう人々への援助を目的として、地域社会において子どもの養育、家族への援助に関わる関係者、保健・医療・福祉・教育・司法等の専門職・機関及びこの活動に賛同する人々との協力のもと、民間団体として、平成12年6月に設立されました。

5. その他

〔奈良県〕

- ・ 県民だより奈良11月号へ記事掲載
- ・ 奈良新聞へ特集記事掲載
- ・ 市民生活共同組合ならコープ（10店舗）においてポスター掲示（11月1日から11月15日）
- ・ デジタルサイネージ（11月14日から11月30日）
- ・ ならどっとFM（11月15日午前11時15分から）
- ・ 啓発パネルの展示及び啓発物品の配布

期間	場所
10月29日（火）から11月10日（日）	県立図書情報館カフェ前
11月 1日（金）から11月 4日（月）	県庁屋上ギャラリー

〔市町村〕

別紙のとおり全ての市町村で実施

◆オレンジリボン運動とは◆

2004年、栃木県において、父親の友人から暴行を受けた3歳と4歳の兄弟の様子に、コンビニの店長が気付き、警察に通報し一時保護されたにもかかわらず、その後関係機関の適切な措置がとられなかったため、後日さらに暴行を受け、橋の上から川に投げ込まれ幼い命が奪われるという痛ましい事件が起きました。

翌年、栃木県の団体「カンガルーOYAMA」が二度とこのような事件が起こらないよう願いを込め、児童虐待防止を目指す運動として開始したのが、オレンジリボン運動です。